

誰もが安心して暮らすことのできる
心ふれあう まちづくり

舞鶴市社会福祉協議会

地域福祉活動計画

平成23年度から27年度 5か年計画



社会福祉法人 舞鶴市社会福祉協議会



ごあいさつ

社会福祉法人 舞鶴市社会福祉協議会
会長 小林 舜 治

舞鶴市社会福祉協議会は、昭和27年に発足し、間もなく60年という節目を迎えます。発足以来今日まで、高度経済成長、オイルショック、バブル崩壊等の経済状況の変化や介護保険法、障害者自立支援法施行など、福祉施策も複雑多岐にわたり社会変動を経験する中、多くの方々のご理解とご支援のもとに、福祉課題の解決に向けて努力して参りました。

現在、舞鶴市に於いても少子・高齢化の流れや経済の状況は改善の兆しをたどることなく推移しており、また、核家族化へのライフスタイルの変化や地域生活の基盤となる自治会への未加入等、身近なところでのコミュニケーションの希薄化が進んでおり、社会的弱者といわれる方々や近隣の方への思いやり、助け合いの意識も低くなり、家庭内の絆さえ失われていくのではと危惧します。

本地域福祉活動計画に於いては、これらの福祉課題を解決するため、各種団体や行政との連携を図りながら地域の福祉力を高めていくことを策定の目的としています。

さて、去る3月11日、東日本大震災の発生に伴い、未曾有の大惨事が起こりました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

本会は、震災後、特定非営利活動法人ガバナンス舞鶴、社団法人舞鶴青年会議所、行政と共にいち早く舞鶴災害ボランティア支援センターを立ち上げ、被災地への義援金の受付や物資の収集と輸送、更にはボランティア参加者を募って現地に派遣するなど迅速に対応を行うことができました。

震災を機に人と人との絆の大切さが再認識される中、このことは、舞鶴の持つパワーとして心強く感じ、また、この熱気溢れるパワーがあれば、本計画が今後必ず活用されていくものと確信いたします。

本計画の策定にあたり、策定委員会委員の皆様はじめ、アンケート調査に於いて多くの貴重なご意見をいただきました市民の皆様、民生・児童委員協議会の皆様から厚く御礼申し上げます。

なお、本計画は、平成23年度から27年度までの5年間を想定してのものです。今後とも市民の皆様からの声も汲んで福祉の更なる充実に向けて取り組みを進めて参りますので、どうかよろしく願いいたします。